

# 研修生の声



Mr. Asim Murtaza Khan

副製油所長、Pakistan Petroleum Ltd. (パキスタン)

製油所の運営管理コース

(平成22年6月1日～15日)

研修生11カ国から集まったTR-7-10「製油所管理」の参加者14名を代表して寄稿させていただくことを大変光栄に思います。日本という素晴らしい国に滞在した経験は私たちの今後の人生において仕事でも個人的また社会的な面でも大きな影響を与えてくれるでしょう。

日揮(株)本社、新日本石油精製(株)、およびジャパンエナジー(株)水島製油所では暖かく歓迎され、省エネ・安全と環境保護に関する新しい技術を学びました。日本の土地は狭いため、スペースの最大利用をしてコンパクトな工場と製油所を建設することで独特な運転・保全管理を生み出しました。また、今回の経験を通して、これまでよく聞いていた「カイゼン」という言葉について理解を深めることができました。我々はカイゼンという要素を違う形で違う条件で使っているのかもしれませんが、人による観察とヒントを把むことに鋭敏な日常の姿勢を通じて絶えず物事を改善していこうという概念は、我々のあらゆる仕事の分野に採り入れられるべきであると思いました。

「合理的思考法」の講義においては、実践的なグループ練習によって、参加者は事業経営の基となる考え方と話し方のプロセスをまとめるためのシンプルでありながらユニークな仕方を学びました。

JCCPプログラムは様々な職歴の参加者に対応するために緻密に計画され、準備され、実施されていました。そのことが我々に技術の知識を増やすこと以上に非常に価値のあるものとなりました。日本の石油精製業界の技術的側面を越えて、日本の経営、文化、習慣、歴史や生活スタイルを学び実際に目にすることができました。参加者は、仲間や講師陣と行動を共にしたことで自分の国を超えて一人一人が親交を深めることができました。

JCCPのこのような素晴らしい実績によって、日本と産油国での協力関係が、さらに強化されていることに感謝しています。また、協力関係強化が継続されること、そして日本の産業投資と技術移転がそれぞれの国においてさらに重要となりますよう共に努力していきたいと思えます。

日本は様々な観点からユニークだと思います。仕事は非常に系統立てられ、組織化されています。人間として基本的価値である作法と礼儀正しさはいたるところに見られます。時間の価値観や正確さは非常に優れています。日本の目覚ましい成功はこのような卓越した要因があることは確実です。

広島観光では非常に心を打たれ悲しい気分になりました。日本の偉大さはこのような悲劇から勇気を出して立ち直り平和を守ろうと決めたことだとわかりました。

JCCPの皆様、学びという旅に我々を導いてくださったことに感謝して「Domo Arigato Gozaimashita」をお礼の言葉にさせていただきます。



「合理的思考法」のグループ発表